

1 担任保育士の配置基準（保育士：児童数）

	国基準	市基準						
		宝塚市	尼崎市	西宮市	芦屋市	伊丹市	川西市	三田市
0歳児	1：3	1：3	1:3	1:3	1：3	1:3	1：3	1：3
1歳児	1：6	1：5	1:6	1:6	1：5	1:6	1：6	1：6
2歳児	1：6	1：6	1:6	1:6	1：5	1:6	1：6	1：6
3歳児	1：20 ※	1：15	1:15	1:20	1：15	1:20	1：20	1：20
4歳児	1：30	1：25	1:30	1:20	1：20	1:30	1：30	1：30
5歳児	1：30	1：25	1:30	1:20	1：20	1:30	1：30	1：30

…網掛けは国基準超

※ 3歳児は1：15で保育を実施している場合、施設型給付費において3歳児配置改善加算を受け
ることが可能であるため、各市において助成金は対象外としている。

2 宝塚市の職員基準配置事業と類似する事業

	宝塚市	尼崎市	西宮市	(参考) 芦屋市
事業名	職員基準配置事業	民間社会福祉施設運営支援事業補助金	職員配置助成	—
概要	市の配置基準に基づき配置された職員数から、国基準で配置された職員数を差し引いた職員差1人につき月額207,000円を補助する。 (子育て支援員の場合は188,000円)	利用者処遇に直接影響のある施設職員を配置基準より多く配置している施設に対して人件費を支援する。 補助額：次のa,bにより算定した額の合計額 a 交付額＝加配人数×年額90,000円（ただし、職員1人当たりの平均勤続年数が11年以上の施設は年額108,000円とする） b 交付額＝加配人数×8/15×年額30,000円	国基準と市基準の職員配置に対する差に対して補助。 1 職員差×年額2,600,000円 2 処遇改善等加算の加算率により以下のとおり補助。 (1) 12%から14% 職員差×年額400,000円 (2) 15%から17% 職員差×年額800,000円 (3) 18%以上 職員差×年額1,200,000円 3 延長保育事業を実施している施設 (1) 30分延長実施施設 職員差×年額300,000円 (2) 1時間延長実施施設 職員差×年額450,000円 (3) 2時間以上延長実施施設 職員差×年額750,000円	配置基準に対する直接の助成はない。 (配置基準は、児童1人当たり、国で定める公定価格の基本分単価に、一定の加算額及び加算率を乗じて得た額を支給する「運営費助成金」を元に実施。)
保育に係る必要資格	保育士、幼稚園教諭、保健師、助産師、看護師	保育士、幼稚園教諭、保健師、看護師等	保育士、保育教諭	保育士、幼稚園教諭、保健師、看護師等
算定根拠	平成11年の臨時的任用職員の日額単価（7,400円）を元に、交通費及び期末手当を加えて積算。	算定根拠は不明。	算定根拠は不明。	—